

この公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により印刷して作成したものです。

## 日本を立て直す!

### まずは、経済!

この3年間の民主党政権下で、信じられないほどの多くの問題が生じ、坂道を転げ落ちるように日本を取り巻く状況は悪化しました。中でも、日本経済の急激な弱体化、これこそ最大の危機です。わたくしは、改めて、「日本を立て直す、まずは経済から。」これを、つよつよ、訴えたいと思います。

そして、具体的にどう実現するのか、を提示するのが、自由民主党に所属する者ならではの責務だと考えています。

まずは、デフレ脱却、そのために日銀に物価目標の約束をしてもらい、そのために必要なことを政府と日銀で協力して行うことから始まります。

デフレ脱却ができれば、円相場も今のような高すぎる水準からは是正され、産業の空洞化を少しでも止めることもできるでしょう。もちろん、これらの金融緩和は、短期的な措置でしかありません。

中期的には、何よりも、日本をビジネスのしやすい社会へと環境整備していく、日本社会をもっと効率的にするなど、日本の産業の国際競争力を高めるための環境整備を政府が行う、ということです。ビジネスのしやすい社会にするための第一の政策は、規制緩和です。政府が「経済」に余計な口を出すことが、結果的に「日本経済」を弱くするのです。

さらに、日本の産業の国際競争力を高めるためには、様々な努力が必要です。日本社会を世界最先端の「社会」にすること、科学技術を開発し、これを産業に活かす仕組みを作ること、日本企業の国際展開を政府も後押ししていくことなどを実行してまいります。

また、これが西濃のポテンシャルを活かすことになるのです。これらの政策をはじめとして、日本経済の再生に、全力で取り組んでまいります。

立て直さなければならないのは、経済だけではなく、外交・安全保障、社会保障、教育、農業分野なども同じです。外交・安全保障は、まずは日米同盟の立て直しと同時に我が国自身の防衛力の再編成が必要です。

社会保障は、「持続可能な制度」を最優先に、制度全体の見直しを急ぐ必要があります。

教育は、まさに未来の日本社会・日本の生活水準に大きく影響する問題です。「知的生産」が重要となっている現代では、時代に合った教育内容・制度に見直していく必要があります。同時に、いじめ問題に対する有効な対策の必要性は待たないです。

そして、少子化問題への対応強化は、未来の日本のために、一刻の猶予も許されない問題です。

さらには、食料自給率の低い我が国の農業をより効率的かつ生産性の高い産業に改善する政策を実現するとともに、何よりも国内農業を育てることも必要です。これらの問題解決のためにも、棚橋泰文は、全力で取り組んでまいります。

もちろん、政策の実施、とりわけ改革の断行には、「痛み」がつきものです。だからこそ、国会議員の定数削減は当然のこと、国会議員や公務員が、国民以上にこの痛みを担うべき責任を負ってまいります。

3年前、自由民主党は総選挙で敗れ、政権を失いました。それは、長年の政権党という地位にあぐらをかき、国民の目線でものを考えるというのを忘れてしまった自由民主党に対して、国民が失望したからだと理解しています。

わたくしは、この点を今も深く反省しております。そして、もっと国民ひとり一人の目線に立って政治活動を行っていくことと決意を新たに、この3年間、努力してまいりました。

今回の総選挙は、自由民主党がどれだけ変わることができたかを皆様に審判していただく場でもあります。

同時に、現在、日本が抱える深刻な経済危機をはじめとする様々な「待たなし」の問題を、スピーディに、かつ、現実感覚を持って、解決していくことができる政党として、自由民主党をもう一度選んでいただけるか、それを国民の皆様に審判していただく選挙でもあります。

棚橋泰文は、日本の抱える問題を解決していくため、全力を尽くしてまいります。

どうか、棚橋泰文へのご支援をいただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。

**プロフィール**

昭和38年 2月11日 岐阜県に生まれる	平成16年 9月 科学技術政策担当大臣
昭和62年 3月 東京大学法学部卒業	平成17年 7月 食育担当大臣(初代)を兼務
昭和62年 4月 通商産業省(現在の経済産業省)に入省	平成19年 9月 政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会委員長
平成 5年 2月 弁護士登録、若手弁護士として、大垣市内に事務所開設	平成22年 9月 自由民主党国際局長
平成 8年10月 衆議院議員初当選	平成24年10月 自由民主党 政務調査会 副会長(経済産業)
平成14年 2月 自由民主党青年局長	

**趣味**  
サッカー、読書、ジョギング

**比例代表も自民党へ**



岐阜県第二区 自民党公認

# たなはし 泰文

やすふみ 49歳

## 今と未来への責任。動かすのは、決断。

### そして堀 誠は つなぐ心を政治に。

#### 改革の道をまっすぐに進む。

### つなぐ重点政策

1. エネルギーと環境の調和を図り、豊かな自然を未来に **つなぎたい。**
2. 少子・高齢化社会に対応し、社会保障の効率化に努め、安心できる社会を **つなぎたい。**
3. 地場産業を育成し、西美濃の活力を **つなぎたい。**
4. 政治に対する信頼を取り戻し、改革の情熱を **つなぎたい。**



民主党公認

**プロフィール**  
 ☆昭和48年11月9日  
 ☆岐阜県立岐山高校卒業  
 ☆中部大学経営情報学部経営情報学科卒業  
 ☆衆議院議員政策秘書

# 堀 誠

ほり まこと 39歳

## 「政治を変えたい」と願う一票を 提案し、行動する 日本共産党へ

『アメリカいいなり』『財界中心』の政治を断ち切って「国民が主人公」の新しい日本をつくる——日本共産党の改革ビジョンです。

**ビジョン 1 原発** 原発依存から **即時原発ゼロ**へ  
 大飯原発など再稼働しなくても電力は足りています。発電潜在力も雇用効果もはるかに高い再生エネルギーの普及を。

**ビジョン 2 経済** 消費税増税でなく **富裕層と大企業に 応分の負担を** 無法なリストラ中止を  
 「デフレ」不況下での消費税増税は経済をダメにし、財政も悪化。選挙後に消費税増税中止法案を提案し、増税阻止へ全力をあげます。

**ビジョン 3 外交** TPP・オスプレイ「ノー」 **安保をなくして対等の日米関係へ 憲法9条が輝く日本を**  
 「集団的自衛権の行使」は、日本が攻撃されていなくてもアメリカと一緒に戦争する危険な道——憲法9条を守り抜きます。

**ビジョン 4 領土問題** 尖閣諸島・竹島は日本の領土 **歴史的事実と道理に立って 外交交渉で解決を**

政党が離合集散するなか、日本共産党は政党助成金も企業献金も拒否し、国民の立場でスジを通す政党です。戦前から侵略戦争反対をつらぬき、憲法9条を守り抜く党です。そして、旧ソ連や中国(毛沢東派の干渉)など、大国の横暴を許さなかった自主独立の党です。「政党のあり方」が問われるいま、1世紀近い歴史でためされた、まともな政党らしい政党、日本共産党を伸ばして、ご一緒に政治を変えましょう。

# 比例代表は 日本共産党 とお書き下さい



# 日本共産党 高木光弘

たかぎ みつひろ

●1959年生まれ。53歳●名古屋工業大学II部卒。会社員  
 ●2003年、2005年の衆院選岐阜2区に立候補●現在、党県委員、西濃地区委員長

## 卒原発!! 増税より景気回復!

我々の故郷、岐阜を、皆様と一緒に守るのが、私の最大の仕事です。我々の故郷は、近くの原発が事故を起こせば、数時間以内で消えてなくなります。そのことを、福島第一原発事故は、我々に教えてくれました。福島第一原発事故は、対岸の火事ではありません。我々に対する警鐘です。その明確な教訓を日本の政策に反映するのが私に与えられた使命です。更にもう一つ、デフレ期に消費増税したら、企業破産が続き税収は確実に落ち込み、現役世代の生活までもが破綻してしまいます。したがって税率を上げてデフレ下では生活苦から買い控えなどで税収が減ってしまい、財政再建も社会保障の財源確保もできなくなります。

以上、私は皆様の代表として、皆様の故郷に対する愛を、国政に反映することが、私に託された皆様の声であると肝に命じてこの選挙に臨みました。

### 日本未来の党が示した 『未来をつくる政治の結集軸』

<b>卒原発</b> 原発稼働ゼロから全原発廃炉の道筋をつくる	<b>活女性、子ども</b> 弱者でも安心出来る社会を実現
<b>守暮らし</b> 民の生活が第一	<b>脱増税</b> 消費増税の法の凍結徹底した無駄の削減
<b>制官僚</b> 地域が主役の社会	<b>誇外交</b> 食の安全、医療制度を守り、品格ある外交を展開

—— 西濃に生まれ、西濃に育ち、西濃に住んでいます ——

**プロフィール**

1969年 3月 揖斐川町立揖斐川中学校を卒業(以後アルバイトで学費を捻出)  
 1972年 3月 国立岐阜工業高等専門学校電気科を3年終了  
 1978年 3月 国立東京外国語大学外国語学部 印・パ学科を卒業  
 2001年 3月 早稲田大学大学院社会科学部研究科博士後期課程 単位取得満期退学  
 2002年 4月 英国国立ウェールズ大学経営大学院 講師  
 2009年 8月 衆議院議員 初当選



# 未来の党 橋本 べん

はしもと べん 59歳



# 第46回衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日 **12月16日(日)**

投票時間 **午前7時から午後8時まで**

一部の投票所では、これと異なる場合がありますので、  
ご注意ください。

- 衆議院議員総選挙は …………… 小選挙区選挙と比例代表選挙で行われます。
- 投票用紙の記載方法は …………… **衆議院議員総選挙**  
小選挙区選挙の投票用紙 ⇒ 候補者名を記入してください。  
比例代表選挙の投票用紙 ⇒ 政党等の名称又はその略称を記入してください。  
**最高裁判所裁判官国民審査**  
国民審査の投票用紙には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、その氏名の上の欄に×を書いてください。  
やめさせなくてもよいと思う裁判官については、何も書かないでください。
- 投票日に投票できない人は …… 仕事や旅行などの理由で、投票日に投票所に行けない見込みの方は、期日前投票ができます。期日前投票は、12月15日(土)までの毎日午前8時30分から午後8時まで、お住まいの市町村選挙管理委員会で行えます。

## 【小選挙区選挙の投票】

候補者名

を記入して投票



用紙の色 薄い柿色  
印字の色 黒色

候補者名

小選挙区選挙

## 【比例代表選挙の投票】

政党等の名称またはその略称

を記入して投票



用紙の色 薄い水色  
印字の色 赤色

政党等名

比例代表選挙